

# らじみサラダボール子育て情報



「発達を踏まえた子育て」

令和5年4月26日号

板橋富士見幼稚園



## 知力を伸ばすコツ

ようこそ！サラダボールにご参加いただきありがとうございます。  
親子で楽しいひと時をお過ごしください。  
毎回、園長が子育ての秘訣をリリースしています。

今日は、知性を伸ばす子育ての秘訣についてお話しします。  
乳幼児期の子どもは、急速に発達していきます。その変化は著しく、日ごとに感じ取ることができるほどです。じっと見つめたり、指差しをしたり、たどたどしい言葉で伝えたり、自ら手に取ったりなど、急激な行動の変化を見ることができます。周囲の人にも、好奇心から興味や関心を強く示す時期でもあります。この頃から脳は情報を蓄えようと学習を始めます。

乳幼児期の学習とは、「学びに向かう力を育てること」が基本となります。この育ての重要な条件は、【人との対話】です。この対話が多い幼児ほど、知的能力が豊かになると言われています。

しかし、ただ対話すれば良いという訳ではないようです。  
もう1つの大切な条件は【自然環境】です。  
つまり「自然の中などでゆったりと対話する」ことが、子どもの知的発達を促進するのです。子どもが環境から感じ取る刺激に対して、親と応答し合うことで、心や言葉が通じている事に喜びを感じます。もしも言葉や心が通じ合えないときは、不思議なことに、通じる言葉を探し修正しながら自己の思いを心や言葉で伝えようと繰り返すのです。



是非、親子でゆったりと新緑の中を散策しながら、語り合ってみてほしいと思います。

これを2歳から3歳、3歳から4歳と、繋げていくことで、脳は多くの言葉や環境の刺激を受けとり、知的に発達していきます。焦らず、楽しい毎日に見てみてください。きっと、自己肯定感を育ち持つことができると思います。

【写真：4月から年少さんも幼稚園生活が始まりました。

先生やお友達と春の虫探しを楽しんでいます。】